

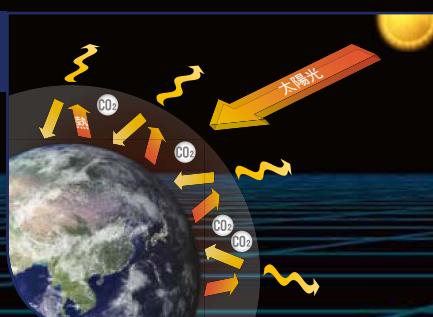


地球の気温上昇は2度を越えると、急激に影響の規模が跳ね上がるといわれています。このままだと、あと10年で15度近くまで変わってしまった地球は、人でなければ姿を取り戻すことはできません。

地球の気温上昇は2度を越えると、急激に影響の規模が跳ね上がるといわれています。このままだと、あと10年で15度近くまで変わってしまった地球は、人でなければ姿を取り戻すことはできません。



昨年、町内の田は市場地区を中心に害虫「ウンカ」の著しい被害に遭いました。また稻の高温障害も少なくありません。温暖化が進めば、蚊などの増殖による人間の感染症や建物ではシロアリの被害も増加します。



## 温暖化のメカニズム

地球は太陽からのエネルギーで暖められ、地球からも熱が放射されています。大気に含まれる二酸化炭素( $\text{CO}_2$ )などの温室効果ガスは、この熱の一部を吸収し、再び地表に戻しています。これを「再放射」といいます。そのおかげで地球の平均気温は約15度に保たれ、人間をはじめ生物が生きるために適した環境が維持されているのです。本来、地球を「温室」のように温かく保ってくれる「温室効果ガス」は無くてはならないものの、しかし、今は大気中に $\text{CO}_2$ が蓄積しすぎて熱がこもり、気温がどんどん上がり続けています。



Earth at Night 夜の地球

## 先

進諸国や都市が光を放つ衛星がとらえた夜の地球。産業活動による都市光(都市化)を示すものですが、これは世界中で見られる現象です。一方で、農村部や開拓地などでは、まだ電気やガスが供給されていない場所があります。また、自然環境や農地でも、夜の光が見えていません。



この暑さ、ちょっとおかしいと思いませんか。昔とくらべてみんなが肌を感じているように、温暖化で地球が悲鳴をあげています。次の世代で表れるといわれていた影響がすでに出ていています。気候と自然環境の変化は、もはや、現実のものとなってしまいました。



「手遅れ」を告げる時計の針は、確実に進んでいます。